

テーマ：商業販売統計（2007年2月）
発表日：2007年2月28日（水）

～ 1月の財消費は好調 ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 副主任エコノミスト 新家 義貴
 TEL：03-5221-4528

（単位：％）

	商業販売額										コンビニ販売額		
	商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店			百貨店		スーパー	
	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比	既存店前年比	前年比	既存店前年比	
05	1月	3.8	3.5	4.3	1.9	2.4	3.6	1.3	▲1.3	0.7	▲2.6	1.3	▲1.9
	2月	2.2	▲2.2	3.8	▲0.6	▲2.7	▲2.2	▲4.2	▲6.7	▲7.2	▲6.4	▲1.9	▲2.8
	3月	0.7	▲3.6	0.9	▲5.1	0.3	▲0.5	▲2.5	▲4.5	▲3.2	▲5.5	1.9	▲1.5
	4月	3.1	4.9	2.9	5.8	3.8	2.3	▲0.6	▲2.4	▲0.5	▲3.6	2.3	▲1.2
	5月	3.1	▲2.1	3.2	▲2.0	2.9	▲1.0	▲0.7	▲3.1	▲1.4	▲4.2	1.3	▲2.0
	6月	1.9	1.1	1.6	1.2	3.0	0.0	▲0.1	▲1.9	0.7	▲3.6	2.2	▲1.4
	7月	0.3	0.6	0.2	1.2	0.6	▲1.4	▲0.4	▲1.7	0.6	▲3.4	▲1.1	▲4.9
	8月	4.7	1.3	5.7	1.6	1.6	0.7	▲1.3	▲2.9	▲1.1	▲4.0	2.0	▲1.4
	9月	1.5	▲2.7	1.8	▲3.4	0.2	▲0.6	▲1.0	▲2.8	▲0.2	▲4.5	3.5	▲0.3
	10月	2.2	2.6	3.0	3.4	▲0.4	▲0.3	▲1.9	▲3.4	▲0.4	▲5.4	0.5	▲3.0
	11月	4.2	1.6	5.3	2.0	0.6	0.4	1.8	0.8	3.1	▲1.0	▲0.5	▲3.9
	12月	4.4	0.3	5.4	0.5	1.3	0.4	0.7	0.6	0.9	0.3	0.1	▲3.4
06	1月	5.3	4.0	7.4	3.1	▲0.4	2.4	▲2.3	▲2.8	▲0.9	▲4.1	0.3	▲3.2
	2月	5.5	▲2.7	6.9	▲2.0	1.1	▲1.4	▲1.6	▲1.9	0.3	▲3.3	1.2	▲2.4
	3月	3.3	▲5.1	3.9	▲6.8	1.0	▲0.3	0.1	▲0.3	1.8	▲1.8	0.7	▲2.6
	4月	4.1	5.6	5.6	7.4	▲0.8	▲0.1	▲0.5	▲0.9	▲0.4	▲1.3	▲1.8	▲5.0
	5月	6.8	0.0	9.1	0.3	0.1	0.6	▲0.9	▲1.6	▲1.2	▲1.9	0.2	▲2.9
	6月	5.1	▲0.1	6.5	▲0.3	0.2	▲0.1	▲0.5	▲1.2	▲1.9	▲0.7	3.2	0.6
	7月	5.1	0.7	6.7	1.3	▲0.1	▲1.6	▲1.0	▲1.4	▲1.4	▲1.3	▲2.4	▲5.2
	8月	6.0	2.1	7.5	2.5	1.1	1.7	0.6	0.1	▲0.8	0.7	0.8	▲1.8
	9月	4.2	▲4.4	5.1	▲5.6	0.7	▲1.5	0.8	0.8	1.3	0.4	▲0.8	▲3.4
	10月	6.5	4.3	8.4	5.8	0.1	▲0.2	▲1.7	▲1.7	▲2.0	▲1.4	2.0	▲0.6
	11月	4.0	▲0.2	5.3	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.8	▲0.8	▲0.3	▲1.2	1.1	▲1.5
	12月	2.9	▲0.9	3.9	▲0.8	▲0.2	▲0.1	▲1.6	▲2.4	▲2.2	▲2.6	2.2	▲0.2
07	1月	2.5	3.7	3.6	2.7	▲0.8	2.3	0.6	▲0.4	0.0	▲0.7	1.7	▲0.7

（出所） 経済産業省「商業販売統計」

○ 1月の財消費は好調

本日、経済産業省より2007年1月の商業販売統計が公表された。小売業販売額は前年比▲0.8%と前月（同▲0.2%）からマイナス幅を拡大させ、コンセンサス（+0.1%、レンジ▲2.3%～+0.5%）を下回った。もっともこれは、前年の水準が高いことの裏が出たためである。季節調整値で見れば前月比+2.3%と大きく増加しており、むしろ良好な結果といってよい。

大型小売店販売額は前年比▲0.4%（既存店）と前月（同▲2.4%）からマイナス幅が縮小、季調済み前月比（全店）も+3.3%と大きく増加している。業態別で見ると、百貨店販売額が前年比0.0%（季調済み前月比+7.4%）と、前月から大きく改善していることが目に付く。なお、スーパーについて前年比▲0.7%（季調済み前月比横ばい）となっている。コンビニエンスストア販売（既存店）は、前年比▲0.7%（12月：同▲0.2%）となった。

○ 1-3月期も底堅く推移する可能性も

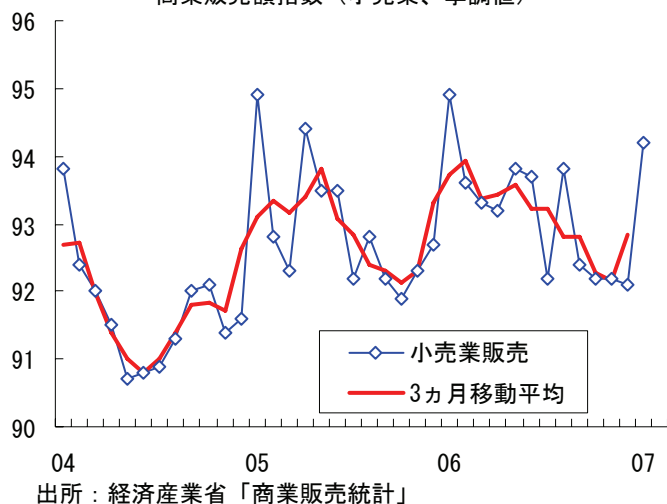
1月の小売業販売額は季調済み前月比で高い伸びになっており、1月の財消費が好調だったことが示された（1月の消費財出荷も好調）。前月比ではほとんどの業態で増加しているが、特に各種商品小売業の

増加（同+3.4%）が大きかった。これは、百貨店を中心として初売りやクリアランスセールが好調だったことが影響している。また、飲食料品小売業も高い伸び（同+3.0%）となり、11、12月の低迷から持ち直した。機械器具小売業については同▲0.6%と小幅減少したが、11、12月に急増した後としてはむしろ強めである。デジタル家電を中心に家電販売は好調さが持続している。

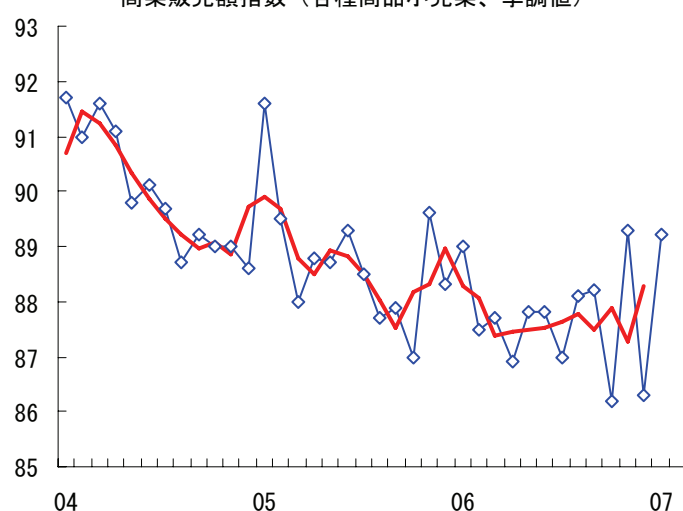
この結果、1月の小売業販売額の10-12月期比は+2.2%となった。季節調整がうまくかかっていない可能性もあるため2月の動向も確認したいところだが、まずは強めの結果とって問題ないだろう。1-3月期の個人消費は、10-12月期の高い伸びの反動もあって低迷するとの見方が筆者を含め多かったのだが、1月の財消費が予想以上に底堅いことにより、1-3月期も底堅く推移する可能性が出てきた。

なお、商業販売統計は財を主に対象とした調査であり、サービス消費の動向は把握できない。現時点で公表されている1月のサービス関連統計として外食売上高があるが、これは大きく改善している。一方、景気ウォッチャー調査のサービス関連は悪化しており、1月のサービス消費の動向はまだはっきりしない。家計調査、特定サービス産業動態統計など他のサービス関連統計の動向も踏まえて改めて1月の個人消費について判断したい。

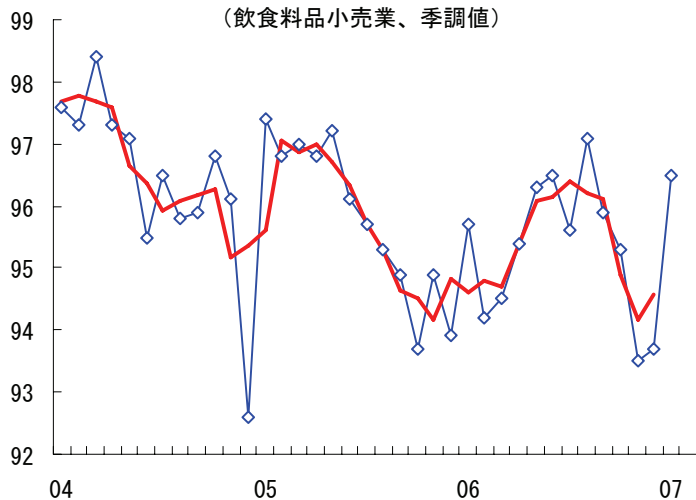
商業販売額指数（小売業、季調値）



商業販売額指数（各種商品小売業、季調値）



商業販売額指数
（飲食料品小売業、季調値）



商業販売額指数
（機械器具小売業、季調値）

